

# ♪アストロラマ N.O. 51 ♪

発行者 桑原由紀子 生駒市上町9-12 ☎ 07437-8-1969

1988. 10. 15



皆様こんにちわ！4か月のご無沙汰でした。  
夏らしくない夏が過ぎ、ソウルオリンピックも終わり、ここ奈良のシルク博もあとわずかとなりました。  
私の方、すっかり元気になりました、末松（中島）さんに  
「いつ電話してもなかなかつかまらない」なんて言われております。両親の部屋も完成して、今のところ同居生活を楽しんでいます。お琴の方もステキな合奏相手が見つかった、また燃えています。元気になれば自然にあれこれやりたくなるものですね。

乗ってるついでに、アストロラマN.O. 51をお届けします。

前号を出した後、バンコクの中川（貴田）さんからお便りをいただきましたので、ご紹介します。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★

まずは、ご退院おめでとうございました。2か月もの入院生活、さぞ大変でいらしたでしょうが、おやさしそうなお母様が側にいらっしゃり、心強かったでしょう。私の場合、73才の母が昨年末より心臓発作を二度起こし、3月、4月のホームリープでは、母の付き添いが主でした。1か月以上も日本にいましたのに、アストロラマの皆さんにゆっくりお会いする機会がなくて残念でした。

それでも、末松（中島）さん、井狩（岡本）さんとお電話でおしゃべりできましたし、梅田の紀ノ国屋書店で思いがけなく、阪本（阿部）さんに声をかけていただき、八坂神社では浅井さんにお目にかかる事ができ、まあ満足してバンコックへ戻ってきました。

今日、久々のアストロラマを手にし、喜んで開封してみると、私の拙い文章がありましたので、びっくりしました。更に我が亭主殿の写真まで掲載して頂き、恥ずかしいやら…

でもこの記事でほんの少しでも、タイに興味を持って頂けたらとても嬉しい思います。経済成長の波にのって、日本企業のタイ進出が相次ぎ、それに伴って、日本人が急速に増えています。

日本人学校では、児童、生徒数の増加で教室がパンク寸前の状態です。現在、1,250名程です。

日本人の数がふえるにつれ、批判の目も増えているのが実状です。行動を充分慎まなければいけないと思います。

予定では今頃、帰国準備で忙しかったはずなのですが、滞在がまた延びてしまいました。サラリーマンの宿命で常に中途半端な状態におかれ、子供の進学の事もあり、予定がたたず困っていますが、かといって転勤のみを待っているのも考えものです。

そこで4月から、コントラクト・ブリッジを習いはじめました。バンコックでのブリッジ人口はとても多く、日本人の奥様の3分の一は楽しんでいるのではないかと思われます。

一人の日本人の奥様が先生になって下さって、週一回、3時間、3か月その方のお宅に通い、手ほどきを受けます。

その後ホテルのブリッジ大会にデビューいたします。ここは日本人のみならず、タイ人、フランス人、イギリス人など、国際色豊かで、各々のお国でルールが少しずつ違い、私のような初心者は戸惑ってしまいます。現在、週二回、ホテル、レストランでプレイしていますが、ねてもさめても目の前をカードが飛びかっているような気持です。

アストロラマの皆さんの中でなさる方がいらっしゃれば嬉しいですね。

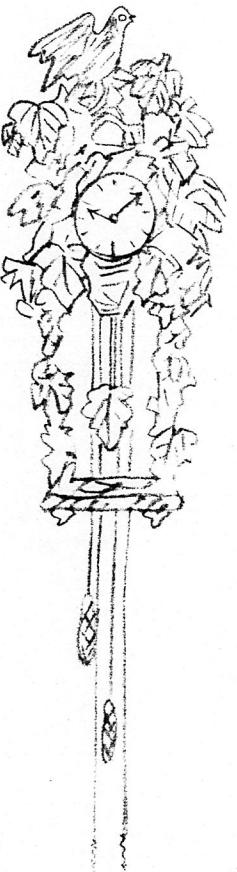
これまで何度か記事を読ませて頂いているヤマギシズムですか、興味がありますね。日本に帰りましたら是非詳しい情報を知りたいと思います。

末松さんのサークルも楽しそうですね。バンコックでは、太陽から逃げてばかりいて、山歩きなど懐かしいです。修法ヶ原、布引きの滝なども懐かしいですね。昔の思い出深い場所です。何でも懐かしがるのは、年をとった証拠と言われますが…。

8月11日に、またホームリープするつもりでいます。アストロラマ、遠くまで送って頂き、本当にありがとうございました。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

中川 久子



中川さん、タイが身近かに感じられるようなお便り有り難うございました。  
それにしても随分、時期遅れになってごめんなさい。どこにいても、誰といても、何をし  
ても楽しんでやれる・・・そんな生き方がヤマギシズム。貴方もしっかりそういう生き方  
をしていらっしゃることと思います。  
ところで読者の中で、ブリッジをなさる方、腕をみがいて中川さんのお帰りを待ってて下  
さい。



### さて、次は東京同窓会の報告です。

9月13日に、東京で万博同窓会があり、神谷さんから、「みどり館から一人招待しますので、どなたかお願ひします」というお電話をいただき、私の独断でこれは堀（福山）さんが適任と思って彼女にお願いしました。彼女、快く引き受けて下さって、同窓会ではみどり館の大きな花を咲かせてきて下さいました。

10月11日、堀さんが法事のため、帰阪されたのを機に、少し声掛けした結果、末松さん、藤村（高谷）さん、宮川（矢上）さん、が来て下さり、5人でお食事しながら、同窓会の様子など聞かせていただきました。

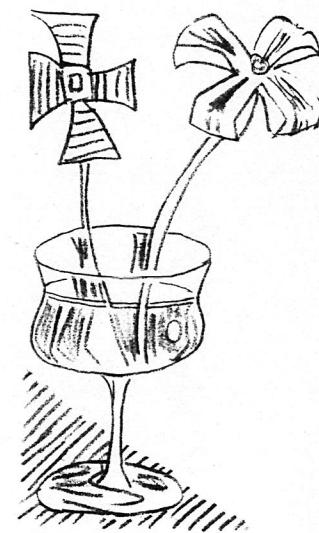
場所は末松さんの案内で大阪第3ビルの33F、トップオブオオサカ。奥の窓ぎわの席を占領して、大阪城、ツインビル、遠くに生駒山を眺めながらしゃべること3時間あまり。

改めてオバサンしてるねってみんなで笑ってしまいました。

その時の堀さんの話。

同窓会はお年を召した、お偉い方ばかりで、とても楽しむ余裕なんてなかった・・・そうなのですが、神谷さんからいただいた写真をみると、なかなかどうどうとしたもので、あでやかなお着物姿で、にこやかに元儀典長とお話ししているところなど、さすが、みどり館代表と拍手を送りたい程でした。

今回ご招待されたのは元エキスポシスターの橋本美代子さんと我がみどり館の堀さんだけとか。お若い（？）二人は東京同窓会の華だった事と思います。  
神谷さん、堀さん、その節は有り難うございました。



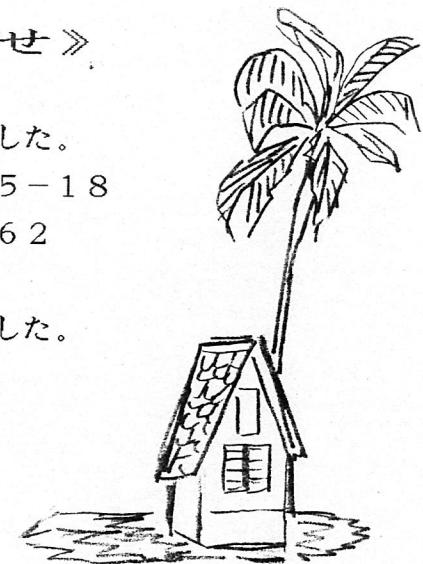
### 《お知らせ》

大谷芳子（大内）さんの住所が変わりました。

新住所 359 所沢市小手指町2-15-18  
0429-22-1362

黒田順子（砂原）さんの住所がわかりました。

JUNKO KURODA DE CHAUEZ  
LOTA 2230 DPTO 801  
PROVIDENCIA SATIAGO  
CHILE



ということで、砂原さん覚えていらっしゃるでしょうか？勝手ながらアストロラマを送らせていただきました。

~~~~~

### 会計報告

|           | 摘要      | 収入    | 支出    | 残高     |
|-----------|---------|-------|-------|--------|
| 63. 2. 15 | 繰り越し    |       |       | 54,454 |
| 〃         | コピー代    |       | 2,550 | 51,904 |
| 〃         | 切手代     |       | 4,800 | 47,104 |
| 6. 25     | コピー代    |       | 3,800 | 43,304 |
| 〃         | 切手代     |       | 4,880 | 38,424 |
| 10. 11    | カンパ（堀）  | 1,000 |       | 39,424 |
| 〃         | カンパ（宮川） | 1,000 |       | 40,424 |
| 10. 15    | 封筒代     |       | 200   | 40,224 |

またまたカンパをありがとうございました。堀さんからはタックシール3回分もいただきました。みんなが作るアストロラマ・・・今回はこの辺で。次号をお楽しみに！

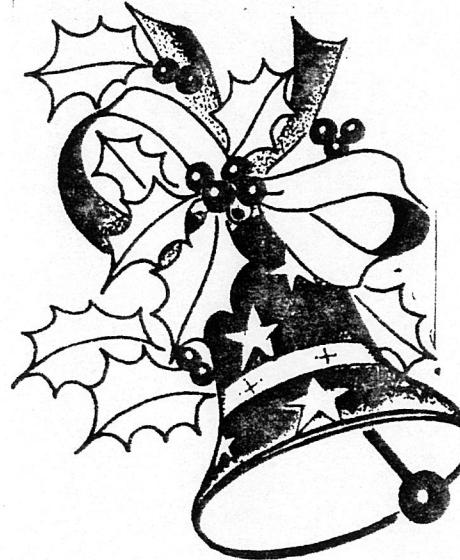


# アストロラマ No. 52



発行者 桑原由紀子 生駒市上町9-12 ☎ 07437-8-1969

1988.12.20



1988年もというか、"昭和"もというか、あとわずかとなりましたね。

皆様にはその後お変わりないですか？

今年は前半、寝て過ごしたせいか、後半の早かったこと、身体の調子も良くなつて、走り回っている内にはや、年の暮れです。

少し遅れましたが、11月13日に、末松（中島）のお膳立てで、杉原美保さんを迎えて、京都嵐山散策を企画し、参加させていただきました。

今回はその報告を末松さんのお便りで紹介します。



私は40才の大台についに乗ってしまいました。アストロラマの皆さんも、多分、殆どの方がそうだと思います・・・。人生八十年時代と言われる今日、ちょうどその半分の年齢です。中年窓際母親族に、ならないよう自立しようと思っています。

そんなことを考えていた時に、いつも私の一杯々々尊敬できる杉原美保さんから、お電話がありました。それで今回は、第3回目の「杉原さんと歩こう会」を計画しました。

京都近辺のみどり館の、田中さん（浅井）、藤村さん（高谷）、阪本さん（安部）、野々村さん、今河さん（山崎）、・・・他にも声をかけたのですが、皆さんご多忙の事、結局みどり館からは、桑原さん（兵頭）、吉川さん（山根）、と私の三人だけの参加ということになりました。

由紀ちゃん、沙代ちゃんと一緒に、はるばる生駒から、嵐山まで2時間の旅行（？）ご苦労さまでした。

11月13日（日）は臨時急行が出る程の人の波でした。由紀ちゃんが会う度に、元気になっていくので、心の中で、本当にほっとしています。病気に打ち勝つて一段と強くなつていく由紀ちゃんに心から拍手を送りたい気持ちで一杯です。

紅葉まつただなかの嵐山の散歩道は最高に美しかったです。

阪急嵐山駅集合、渡月橋のたもとの「華洛」のお座敷で、お食事をしながら2時間ほどお喋りしました。（野々村さん、今河さんにもいろいろ教えていただきまして、その節は有り難うございました。）

当日の出席者は、杉原美保さん、吉川さん、桑原さん、末松さん、足立さん、内川さん、奥田さん、川西さん、玉村さん、宮脇さん、三輪さん、大人12名、子供6名の計18名のにぎやかな集いでした。

散歩コースは、天竜寺→野々宮神社→落柿舎→常寂光寺→二尊院→祇王寺→化野念佛寺→阪急嵐山

第一群の忙しい5名は天竜寺で別れ、第2群の子連れ8名は野々宮神社で別れ、残る美保さんの5名は時間のたつのも忘れ、最後まで紅葉を満喫し、二尊院のお茶屋でわらび餅をいただき、渋滞で動かぬバスに乗って、嵐山駅まで戻りました。もうあたりはまっ暗、観光地はシーズン中、バスや車は利用するものではないですね。

紅葉の美しさと、美保さんのお話、共に感動的な一日でした。



末松具子



未松さん、その節は何から何まで、お世話になりました、有り難うございました。

今回、私は食事の後、子供達のお母さん役をやらせてもらって、みんながお話をしている間、川原で子供達と遊んできたのですが、自分なりにやりたいことが、やれて良かったという、満足感が残り、参加して良かったと思いました。

さて次ぎに、美保さんからいただいた、すばらしいプレゼントを紹介したいと思います。これは、美保さんの住んでいらっしゃる船橋市が募集した「私の生き方」という婦人問題意見に応募され、優秀賞に選ばれたものです。

## いつまでも若々しく

杉原美保子

92才のNさんという方から、近く用事で上京するので、ぜひ会いたい、という手紙を頂きました。彼は、私が以前住んでいた西宮の家の近所の方で、現在も300人の老人クラブの会長さんです。東京から電話をもらったとき、私はちょうど東京に行く用事があったので、その前に会う約束ができました。

私たちは6年間ボストンで暮らしお、今春帰国しました。渡米前にお会いして以来なので、「わかるかしら」と心配でしたが、彼は全然変わっていませんでした。70代といつても通る若さです。10時半から1時まで話しあはれませんでした。

彼は、奈良の女高師出の、数学の先生をしていた年上の奥さんを8年前に亡くした元銀行マンで、目下ひとり暮らし。しかし家は、奥さんが70才になったとき、もう炊事が面倒になったからと、長男と同居するために自分たちは一階、長男たちは二階に住むようにと建てられました。これがわが人生の大失敗だったと、頭をかかれます。

食事を作ってもらうはずが、若奥さんは二人の子どものPTAで大奔走。夕方六時になつても留守なので、見かねて孫に食べさせる日が続きました。その結果、奥さんは、まあ夫婦二人のことならまだやれるが、孫の世話をまではとても、ということで、一階に炊事場の増築をし、以来二世帯別々の生活が始まります。

若奥さんの無言の抵抗かな、と思わぬでもないのですが、結果として老人世帯が自立を続けることができたのは悪いことではない、と私は思います。しかし、そのときにできたミズは今もますます深くなっているとか。

Nさんは週三日、午前中手伝いの人を頼んでいます。二階とは没交渉とはいっても、木造家屋ですから物音は聞こえるので、下の動静は気にされているでしょう。

私はNさんのこの若さの第一は、彼の自立した生活にあるとみました。第二はぎっしり日程を書き込んだ忙しい生活です。

87才の私の義母も今、京都で一人暮らしをしています。関節が痛かったり、という問題はあるにしても、自分の生活を自分で楽しんでいます。郷里が島根県なので、京都を通過する親戚や、友人が、誰に気がねもしないので、よく立寄ります。女人は掃除、洗濯、炊事と結構毎日忙しい様子です。この夏には亡父の十三回忌を郷里ですると張切っています。一人暮らしの緊張感がやはり義母を若々しく支えているのを感じます。

ここで高齢社会が日本より早くきたアメリカの友人の生活をみたいと思います。私が小学校を見学させてもらうためにインディアナ州で教える52才のジョージアを訪れたとき、97才の彼女のおばあさんの具合が悪いので、毎晩アイオワの両親と電話をしていました。おばあさんは95才まで台所付き老人アパートに住んで、自分で生活していました。十年前に私が訪れたとき、縫いぐるみや造花をたくさん作っていて、おみやげにもらつたものです。

彼女は二男七女を生み、今は五人の娘たちが近くに住んでいます。二年前にこけてから、医師のすすめで独り住まいを止め、娘の家を二週間ずつまわって賑やかに暮らしてきました。娘といつても74才のジョージアの母親が頭で、下にはジョージアと同じ年。どの家も子どもは成長して出ているので広々としています。95才まで自立して、できる限り家族に迷惑をかけなかつたおばあさんの頭はしっかりしていますし、娘も孫もとても優しくしていました。

おばあさんの具合が悪くなつてからは、未亡人の娘の家で寝込み、四人が交代で一晩ずつ世話をします。私がジョージアの家に泊まったとき、彼女の母親の番で、夜中に何度も枕元のベルを鳴らして呼ばれたとのことでした。高齢社会では、74才になつても親の面倒を見られる体力がいる、と思ったことです。

93才のマドレインのお母さんは日曜日にはハイヒールに帽子を斜めにかぶり、さつそろ教会にいきます。彼女は手芸が趣味で、洗濯屋のくれる針金のハンガーを、配色のよい三色の毛糸で編みこんで飾り、それをバザーに出したり、私にもプレゼントしてくれました。とてもかわいらしく、しかもブラウスなどすべらず使いやすいものでした。

彼女は現在、末っ子のボブ夫妻と同居中。同居といつても風呂、トイレが自室についていて、日本より樂とはいへ看護婦の資格をもつマドレインは子育て後の今、他の人のようには仕事を持ちにくいうどうです。

セルマのお母さんは100才で自炊していました。大学の図書館に勤める彼女の週末は、一時間のドライブでいつもお母さんを訪問。ヘルパーが週五日、一時間ずつ手伝いにくるのを、セルマは、一時間では何もしてもらえない、こぼしながらも、誰かが毎日訪ねてくれるので安心だとも言っていました。

彼女は100才を祝った新聞のインタビューで、教会のボランティアが週に一回スーパーに買物に連れてってくれるが、週一回では少なすぎる、買物は大きな楽しみだから、と言ってました。私はその生きる意欲に拍手を送ったものです。

ボストンでバスに乗ると、シニアの人がよく乗ってきます。乗り降りに時間がかかりますが、みんな、自分もいつか年をとると思うので、やさしくしています。医師が一日に一度は外へ出るようにと指導しているようでした。多くの人は独りで暮らしていく、若々しいのには目を見張りました。定年は女性も65才です。現役で働いている85才の女性にも何人か会いました。

私たち日本人は、もう歳だから、と言い過ぎると思います。これは怠け者の自分を正当化しているとしか思えません。また年齢に対する差別も、日本の社会は特に大きいと思います。テレビの司会者を見ても、アメリカでは老眼鏡を胸にぶらさげた女性が多く、人生経験からきた人間的な魅力がありました。日本に帰った途端、若いアナウンサーや司会者ばかりで、何だか未成熟社会のような気がしたものでした。

シニアの人が明るく生きいきと生活できるのは先進国のトレードマークだと思います。だってインドネシアに行ったとき、40代後半の女性はもう腰を曲げたおばあさんでした。外国の例を見るまでもなく、私の祖母の年代を思い出せばわかります。

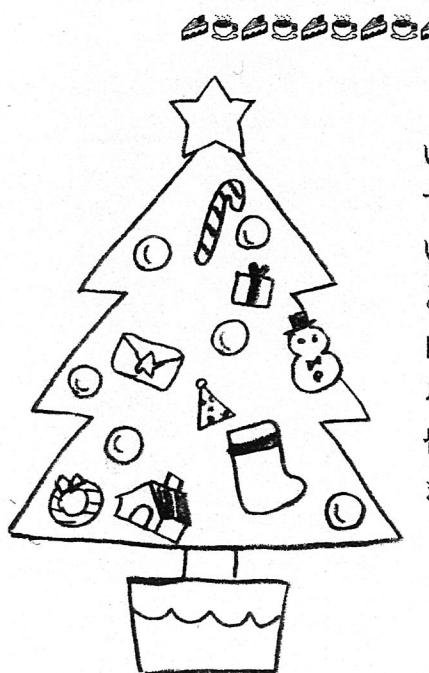
いつまでも若々しく暮らすためには、できる限り若い人たちに迷惑をかけないで、自立した生活を続けることだと思います。昔は経済的なこともあったと思いますが、経済成長のお陰で私たちは自分さえその気になれば、欧米人のように自立できるようになりました。

しかし、その心の準備は随分早くからしなければ、と思うのです。私がボストンにいたとき、日本の大学や企業から一、二年ずつたくさん若い人が勉強にきていました。アメリカでは主婦が家事の間にたやすく大学や大学院で学べるので、夫が研究している間に一生懸命にやってる妻もいましたが、日本人同志で英語や料理のけいこだけに通っている人も多いようでした。

彼女たちは今まで受けた教育の中で、努力して学んでいくことの喜びに気付かなかつたのでしょう。また好奇心に輝いた目をもっていないのも気になりました。生涯教育といわれる現在、こういう得難いものを持っている人は、シニアになっても退屈知らずだと思います。

自分で自分をどう楽しませるか、それに向かって挑戦できる人になることは、自立と共に、これから社会でとても大切なこと、私もいろいろとやってみたいと思っています。

おわり



いかがでしたか？ 私など、自分の意見というものが、自分ではっきりしなくて困っていますが、どんなことについても、自分の意見が言えるということは、すばらしいことだと思います。

自分を楽しませて生きていく・・・私もいつも目指しているところです。

皆様も感想などありましたら、アストロラマ宛にお願いします。 美保さん、どうも有り難うございました。

## 《お知らせ》

市川雅子さん（藤本）の住所が変わりました。

新住所 画525 滋賀県草津市若草6-3-22  
0775-65-9987



木村桂子さん（中藤）の住所が変わりました。

新住所 画614 京都府八幡市西山和氣6-5

\* 桑原 禅（喜多川）さんのアストロラマが転居先不明で返送されてきました。どなたかご存知の方、桑原までお知らせ下さい。

## 会計報告

|       | 摘要   | 収入 | 支出    | 残高     |
|-------|------|----|-------|--------|
| 10.15 | 繰り越し |    |       | 40,224 |
| "     | コピー代 |    | 2,700 | 37,524 |
| "     | 切手代  |    | 4,800 | 32,724 |

今回はこれでおしまい。それでは皆様良いお年を・・・  
来年は元日から奈良ロイヤルホテルと3日には、談山神社にてお琴を弾きます。  
3月5日（日）には “あうん” の演奏会もありますので、またよろしくお願ひします。



# アストロラマ No. 53



発行者 桑原由紀子 生駒市上町9-12 ☎ 07437-8-1969

1989.3.20

皆様こんにちわ。平成になって初めてのアストロラマ、53号をお届けします。

年度変わりを迎えて、お忙しい事と思いますが、お元気ですか？うちの沙代ちゃんも4月から幼稚園、本人は早く行きたいらしく、カバンを出したり、制服を着たり脱いだり・・・なんだけど、私の方は今まで相当のんびり気ままな暮らしをしてきたので、毎朝きっちり起きれるかしらなんて、つまらない心配をしております。初めての子供の入園、親までワクワクドキドキ・・・殆どの皆様にとっては、遠い昔の懐かしい思い出かもね。

さて、3月といえば、私にとっては“あうん”の演奏会。正しくは“尺八三本の会 あうん”と言って、夫を含めた尺八奏者3人で作っているグループなのですが、その2回目のコンサートが去る5日になりました。私は出演するわけではありませんが、裏方の仕事もあり、結構忙しいんです。昨年は一回目の大事な時期に入院していたのに、今年こんなに元気になって、いろいろお手伝いができる、まるで自分の会をやったみたいに嬉しく思えました。アストロラマの読者にも、大阪近辺の方にはチケットを送らせていただきました。結果、浅井館長の奥様はじめ、三輪寿美子さん、片上則ちゃん（竹口）がお母様と一緒に、末松具子さん（中島）はご主人と一緒に来て下さいました。皆様その節は本当に有り難うございました。お蔭さまで席が足りない位盛会でした。

## 末松さんの感想

ご主人の尺八の演奏を聴かせていただき、久し振りに心が満たされました。由紀ちゃんの尊敬する吉岡紘子先生の琴も素敵でした。私もファンになりそうです。



次ぎに、皆様おなじみの末松具子さんのお便りから・・・

春の ottobreと共に、受験生の皆様、落着かれましたか？皆様のそれぞれにふさわしい進路が開かれましたことを心からお祈りしています。

1月の末に東京へいきました。その節は大崎さん（横井）、忙しい中、私に半日付き合って下さって有り難うございました。手焼きせんべい、とってもおいしかったです。

時代は昭和から平成へ、アメリカではレーガン大統領からブッシュ大統領に、あつという間に世の中が急変したというのに、私は相変わらず専業主婦。周りの皆さんには、逢う度に素晴らしく変身して、新しい出発点に立っておられるように見受けられ、羨ましい限りです。そこでその刺激を求める皆様、是非、“第4回杉原美保さんと歩こう会”に参加しませんか？

今回は、いつも浅井館長さんから、ご案内いただく、おひなさま展に合わせて、4月2日に決めました。

またコースも、清水から二年坂、三年坂あたりを歩くコースと、直接展観場である八坂神社常磐殿に来るコースとふたとおりにしましたので、都合のよいほうに参加して、どなたか懐かしい方に逢ってみませんか？誰に逢えるかは、行ってからのお楽しみ！

平成元年4月2日(日)

### ① 美保さんと歩きたい組

集合場所・・・JR京都駅 市バスA2乗り場  
(206系統バスに乗りります)

時間・・・11:00~11:30

### ② 直接、常磐殿に行きたい組

1:00~2:00の間に来てください。

(おひなさまは10時から3時まで見れます、この時間に行くと逢えるかもしれないということです)

(注) ①の方、雨天の場合は、常磐殿に直行となります。

昼食は各自持参

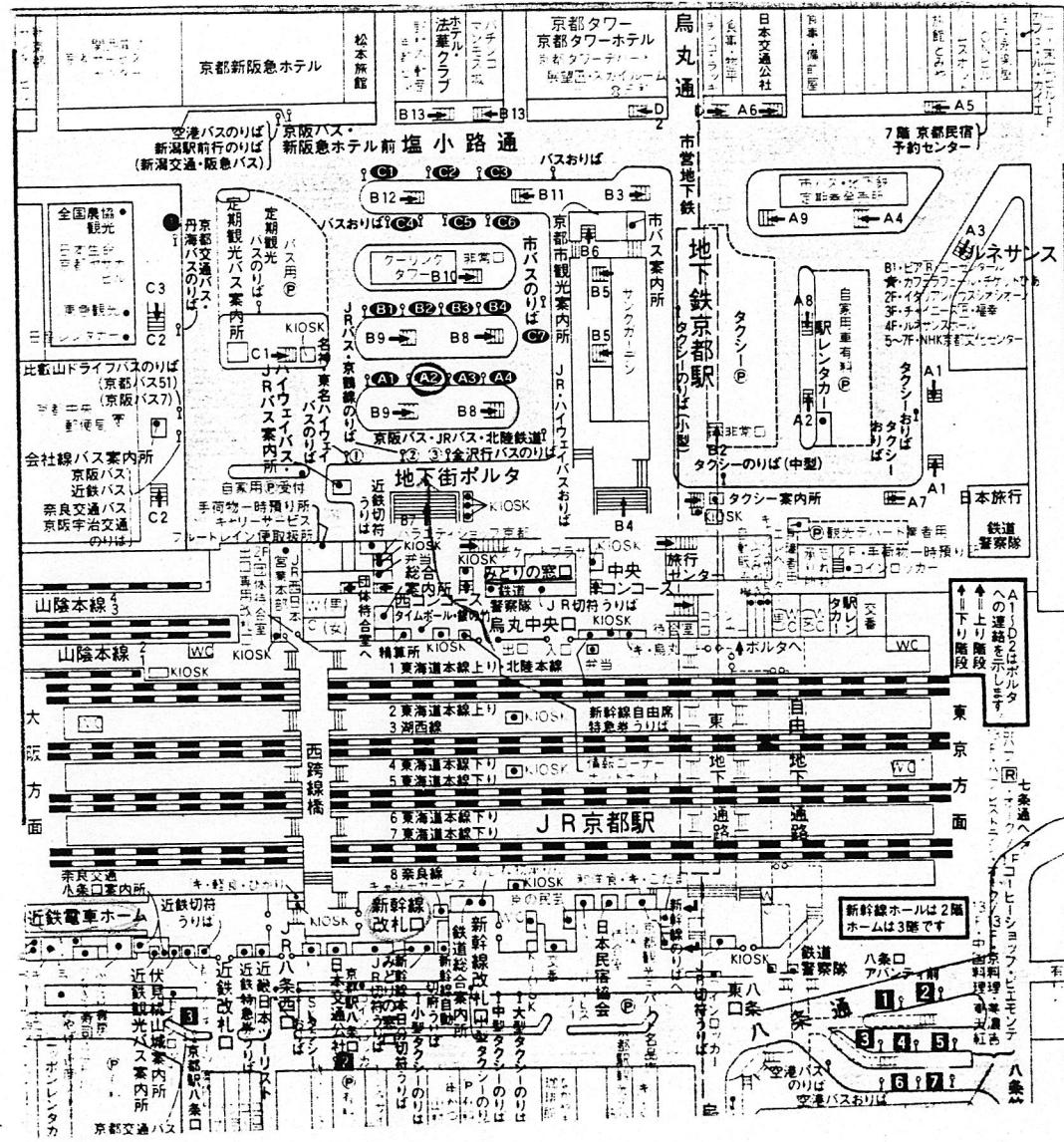
歩く時間は約2時間、楽なかっこうでどうぞ。



お問い合わせは、0726-26-6784（末松）まで

京都駅の地図です。集合場所、市バス A 2 乗り場をお確かめ下さい。

## 《お知らせ》



歩きのコース

JR京都駅 → 五条坂 → 清水坂 → 清水新道 → 清水寺 → 音羽の滝 →  
(市バス)

地主神社 → 三年坂 → 二年坂 → 靈山観音 → 高台寺 → 文の助茶屋 -

常磐殿（1時～2時）→円山公園散歩

以上です。新しい方大歓迎！多数ご参加下さい。

熊谷安重（下村）さんの住所が変わりました。

新住所 〒560 豊中市東泉丘2-5-1

桃山台ハイツ303

06-858-7097

中川久子（貴田）さんがバンコクからお帰りになりました。

新住所 画167 杉並区下井草2-8-12

三和銀行 下井草寮 110号

03-301-3872



中川さん、お帰りなさい。暖かいバンコクから春とはいってもまだまだ寒い日本へ帰って、体調をくずされませんように。東京アストロラマの皆様、盛大な歓迎パーティーの企画などありましたら、是非お知らせ下さいね。末松さんあたりは、飛んで行くかもよ。

## 會計報告

|       | 摘要   | 収入    | 支出    | 残高     |
|-------|------|-------|-------|--------|
| 12.20 | 繰り越し |       |       | 32,724 |
| 12.20 | コピー代 |       | 4,000 | 28,724 |
| "     | 切手代  |       | 5,560 | 23,164 |
| 1,3,7 | カンパ  | 1,000 |       | 24,164 |

## 第2回コンパッソン同窓会開催予定

平成2年5月19日(土)万博迎賓館にてありますので、遠方の方は今から関西旅行など、長期計画の中に入れて下さいね。

では、これでおしまい。次号をおたのしみに。

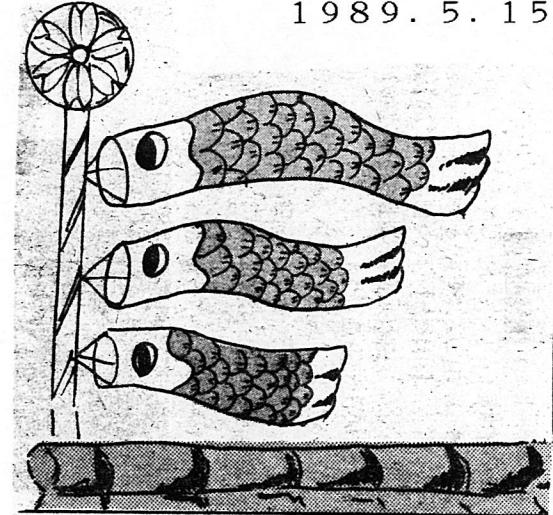
# アストロラマ No. 54

発行者 桑原由紀子 生駒市上町9-12 電07437-8-1969

1989.5.15

皆様こんにちわ。ゴールデンウィークは、いかがお過ごしましたでしょうか？ほとんど、文章らしきものを書かない生活を送っているせいか、こうして書きだしても、何をどう書いていいやら・・・我ながらイヤになります。が、そんなイヤなことさえも、楽しんじやおうっていうのが、私の生き方、かっこう構わず皆様に会ってお喋りしてる気分でいきますね。

まづ、前号で計画した「おひなさま展」に参加された宮脇ゆきえさんから、お便り（というか、末松さんにさんざんアストロラマにレポート出すように言われて、書いてくださったとか）いただきましたので、ご紹介します。



皆様、こんにちわ。アストロラマには初めて書かせていただきます。4月2日（日）の京都、ときわ殿でのお茶席は、お隣りの円山公園のお花見と重なり、楽しい一時でした。末松さんのご企画により、浅井様ご夫妻にお逢いできたことや、奥様のお嫁入り道具のひとつであった「おひなさま」を拝見できることも喜びでした。ときわ殿の中の「車よせ」をはじめ、鹿鳴館をしのばせる数々の素晴らしいお部屋。ステキでした。

ここから少し離れると、人、人、人の波の中を私達は、三三、五五、連れだって四条の方へ歩きました。

途中、適当な喫茶店を見つけて腰をおろし、今日のお客様の杉原美保子さんのお話しを聞きます。有機農法による自然食は日本には少ないと話題に。又、何にでも自分達がああしょうか、こうしょうかと提案していかなければ、物事はよくならないとも。美保さんは以前家庭の主婦達にコーラスを指導しておられ、韓国の歌を本国から楽譜を取りよせて歌われたのがきっかけになり、何年も経てから、今春、韓国にご招待され、歌や講演をされたと聞いています。以前ドイツの歌を歌っていらっしゃった時も、短期ドイツ留学のご招待を受けられました。とてもラッキーな方だとは思いますが、日頃に一生懸命だからこそ、ご褒美が賜ったのでしょう。ものごとをする場合、ある一定の所までは、人間は皆同じレベルであると思います。そこで多くの人達はやめてしまいます。やめないで先に進んで行くのです。進め方は人それぞれの仕方でよいのです。すると何かが得られるのではないかしら……と最近考えるようになりました。

素晴らしい一日を浅井様ご夫妻、美保さん、末松さん、そして参加された皆様有り難うございました。

A horizontal row of twenty white five-pointed stars arranged in a single line, centered on the page.

宮脇さん、お忙しいところ有り難うございました。自分の文章が活字になっていましたか？結構楽しいでしょう？またよろしくお願ひしますね。

当日は私も行く予定にしてたのに急にお琴の仕事が入って残念でした。でも一つはっきりしたことは、何があってもやっぱりお琴を優先させたいってこと。この頃は友達といっしょに、料亭、ホテルなどでのイベントやBGM的な生演奏をしたいと思い、いろいろ声をかけています。何をやるにもまず自分達の手で、ということで動いています。なかなか思い通りにはいかないけど、実際に動くことで満足できます。とにかく「思ったことはやってみる」これ楽しいですよ。

私なんか足元にも及ばない位、行動派のおなじみ末松具子さんからも楽しいレポートが届きました。

4月、5月は1年のうちで一番リフレッシュする忙しい季節ですね。沙代ちゃんも、幼稚園だそうで、ママさんは毎日の送迎に大変ですね。東京の阿竹（武藤）さんは100数名の子供会の会長とか・・・PTAの役員や地域のボランティア活動に、仕事にとご活躍のアストロラマの皆さんお元気ですか？

## 報告 1 . . . 「美保さんと歩こう会」 から

参加者は、杉原さん、足立さん、内川さん、長谷川さん、末松（中島）、の5名がハイキングコースに、ときわ殿では、浅井様ご夫妻、堀（福山）さん、宮脇さん。

桜の満開の清水坂を歩きました。沿道には、家元の投げ入れが無造作に生けられて、私たちを楽しませてくれました。2時頃ときわ殿に着くと、堀さんが首をながーくして待っておられました。ときわ殿では立派なお雑様に、皆さん感激されていました。浅井さまに館内を案内していただき、お雑様の前でお抹茶と和菓子をいただき、ハイキングの疲れを取りました。来年は4月8日（日）だそうです。今年行けなかった方は、来年にチャンスがあります。館長さん、奥様有り難うございました。堀さんは東京からわざわざ来られたというのに、大阪のお友達に逢えなくて、残念そうでした。

報告 2 . . . 東京グループ、中川（貴田）さんの歓迎会から

京都歩こう会から半月もたたないうちに、東京の岡本（岡村）さんから、可愛い招待状が届きました。4月はとっても忙しかったんだけど、無理に無理を重ね、日帰りで行くことにしました。カツラちゃんは是非泊めてあげるから・・・といって下さったんだけど、別の用事もあって残念ながら日帰りしました。

4月26日（水）11：30に渋谷ハチ公前に集合して、東急文化会館4F「矢倉」へ出席者は相原（近藤）さん、岩間（朝日）さん、大崎（横井）さん、岡本（岡村）さん、大塚（村田）さん、豊田さん、中川（貴田）さん、橋本（吉田）さん、堀（福山）さん、山崎（太田）さん、末松（中島）、

お世話係りは岡本さんでした。二次会は喫茶店で。中川さんのバンコックの生活、8年間も炊事、洗濯をしたことがないという羨ましいお話をはじめ日本に帰ってからの苦労話、受験生の話し、子離れの話など、皆子供に関しては悩み多き年頃です。

三次会には、町田市の岡本さんのお宅へ。手作りの夕食を頂き、PM8：21新横浜から新幹線で大阪へ、家に着いたのは11：40でした。とっても楽しい一日でした。皆さん有り難うございました。

報告 3 . . . 東京グループ、鎌倉へ歩こう会のお知らせ

時 . . . 6月14日（水）AM10：00

集合場所 . . . JR横須賀線 鎌倉駅（鶴岡八幡宮方面改札口）

この件のお問い合わせは、橋本和子さん（0466-27-0204）又は、山崎信子さん（045-714-3573）まで、多数ご参加下さい。

報告 4 . . . 阿竹憲子（武藤）さんの住所が変わりました。

新住所 〒319-14 茨城県日立市川尻町2033-30  
0294-42-7396

報告 5 . . . カンパをありがとう。

中川さんから1万円、堀さんからタックシールを頂きました。

追伸 . . . いつも思うんだけど、東京グループのように、大阪も頑張って連絡網を作つて、年に2回位逢えるようにしたいですね。どなたか私に協力して下さる方あつたら連絡下さい。 末松具子 TEL 0726-26-6784まで。

★★★★★★★★★★★

末松さんいつもありがとうございます。今回このアストロラマと一緒に彼女のメッセージが入つていた方、封筒を開けて喜びが2倍になった事と思います。他を喜ばせて自分の喜びにする末松さん、素敵ですね。

中川さん、堀さんいつも有り難うございます。堀さんにはタックシールをつくるための住所録を送りますって言いながら、なかなか送れなくてゴメンナサイ。それでもシール作ってくれて感謝感激！！

最後に奈良グループからのお誘いです。

バラの庭園で有名な靈山寺（りょうせんじ）へ出かけてみませんか？靈山寺は1300年の歴史をもち、本堂（国宝）をはじめ境内には数々の優れた建築物や仏像がある他に、人生の輪廻をテーマにした、広さ千坪の洋風バラ大庭園があります。毎年5月中旬から6月にかけて、約300品種、3000株のバラの花が甘い香りを漂わせて咲きほこるその美しさは格別で人々を魅了します。

時 . . . 6月4日（日）11:00

所 . . . 灵山寺入口（入山料を払う所）に集合

近鉄奈良線 富雄駅よりバス①番乗り場から5分、靈山寺前下車

なお日曜日には臨時バスがでています。タクシーだと約800円です。

靈山寺 TEL 0742-45-0081

会費 . . . 5,000円（入山料、昼食費、消費税込み）

以上、申し込み、問い合わせは20日までに、坂上栄子さん（07437-4-9166）まで



# アストロラマ No. 55



発行者 桑原由紀子 生駒市上町9-12 ☎ 07437-8-1969  
1989.7.30



暑中お見舞い申し上げます。暑い日が続いておりますが、皆様お変わりございませんか？またまた好き勝手な事書いて、アストロラマ55号をお届けします。

今回のトップニュースは、ボストンからバルサムとマイケル（12才）親子を迎えたこと。

バルサムは、このアストロラマにもよく登場していただいている杉原美保子さんのお友達です。

この度観光で日本に3週間程滞在、その間、関西方面での1週間を関西の方達でお世話してほしいと美保さんから末松さんに依頼があり、彼の方から数人に連絡、皆快く引き受ける…というより是非やらせて下さいって感じで話はトントン拍子に決まり、7月15日、いよいよ関西に迎えることになりました。

15日から20日まで末松さん→足立さん→宮脇さん→坂上さん→桑原と連係プレー。お互い連絡取りあって、バルサム達を京都、宝塚、大阪、奈良と案内することができました。

今回このホームステイに関わらせていただいて、皆同じようにバルサムの人柄をほめ、お世話を喜び、帰られた後も暖かいものが心に残っているって聞きました。それ程素敵なお方でした。美保さんもすばらしい方だし、こんなつながりがどんどん広まってゆくと本当に楽しいなあって思います。

まずは、末松さんの報告から…

7月15日関西入りして最初は日本庭園へ、案内は長谷川親子、末松親子で。4:00の閉館ぎりぎりだったので、残念ながら、茶席は終了していました。野球大好きのマイケルは、長谷川君、末松君とキャッチボールができて大喜びでした。

夕食は我が家で、長谷川親子3人、内川さん、今西親子2人、末松親子3人、バルサム親子2人総勢11人が集まり、狭い我が家に笑いが一杯、にぎやかに過ごした後、宿泊先である今西宅へ送って、そこでまたティーパーティ。

翌16日は私と美香の案内で京都へ、京都では、外人観光バスに乗り、東本願寺、二条城、金閣寺とまわりました。その後、梅田でショッピング。マイケルは念願のミット（それは私が推薦した美津濃の製品）を買って大満足でした。

夜は主人と共に実家へ。風邪をひいていた母も、うつしては大変と心配しながらも、バルサム達のためにお抹茶をたててくれました。

翌17日は足立さんにバトンタッチ。彼女の案内で宝塚歌劇、ファミリーランドへ。

18日は宮脇さんの案内で松下中央研究所を見学、その後水上バスに乗ったり、大阪城をみて奈良へ移動です。

と、ここからは私、桑原から奈良での様子をお知らせします。

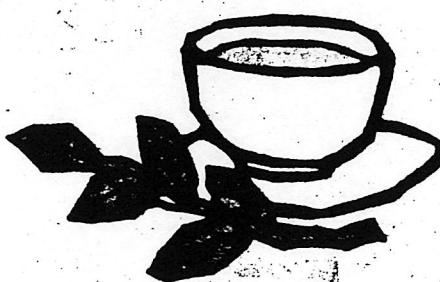
18日夕、宮脇さんに連れてられ、生駒到着、駅から坂上さんの家へ。初対面なのに懐かしい人に会ったみたいな優しい笑顔、疲れていらしただろうに、本当にさわやかな第一印象でした。お花が大好きな栄子さんは、バルサムもお花大好きと聞いて大喜び。玄関を入れると、そこそこにさりげなくお花を生けて、みんなを迎えて下さいました。後でバルサムも生け花を楽しまれたそうです。

翌19日、雨は降らなかったものの、日本独特の蒸し暑い一日でした。栄子さん、村田弘子さんと一緒に奈良へ、東大寺の大仏さんを見て、二月堂、三月堂と回りました。平日だったので、観光客も少なく、のんびりと見ることができました。説明は英語の上手な栄子さん、弘子さんにまかせて、私も久し振りに奈良見物を楽しみました。

昼食時間もたっぷり取って、疲れた足を休め、春日大社、万葉植物園を見て、早めに帰ってきました。栄子さん家で夕食を済ませて、最後の夜は私の家へ。言葉の心配もあったけど、バルサムはわかりやすく、ゆっくり話してくれたし、マイケルは大好きな仁天堂（ファミコン）で主人と野球ゲームを楽しみました。尺八とお琴の合奏も聞いていただいたらしくて、あっという間に時間が過ぎてゆきました。

翌20日は、静岡へ移動する日、電車を乗り継いで新大阪まで送りました。新大阪では、末松さん、内川さん、長谷川さん、今西さん達と再会、みんなで別れを惜しむとともに、関西滞在を無事に済ませた事を喜び合いました。

貴重な体験を与えて下さった美保さん、有り難う！





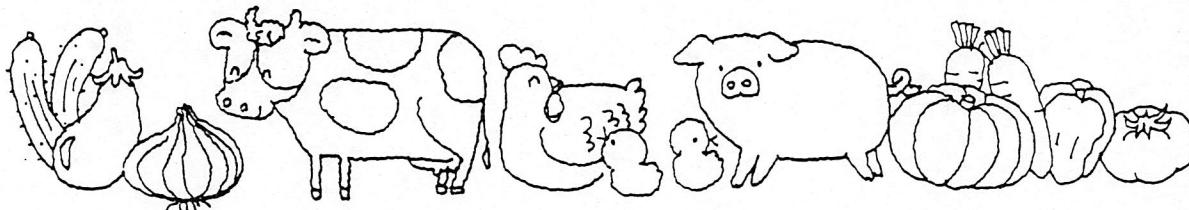
次ぎに私事になりますが、いよいよ沙代ちゃんがヤマギシの楽園村に参加できる年齢になり、この夏初めて行くことになりました。

期間は8月1日から8日まで。一人っ子の沙代子にとって、大勢の友達の中で兄弟みたいに過ごせる一週間。初めはちょっとまどい、淋しくなって泣きだすかも・・・だけどやがて自分の力でそれを乗り越え、誰とでも、どこででも楽しくやっていける事に気づくだろう。楽園村はそんなところだから・・・

本当に沙代子のために、31,000円の一週間をプレゼントしたいと思っている私です。とは言っても、実際、手元から放して心配なのはきっと親の方だろう。子供は毎日楽しく過ごしていれば、親の事など思いだす暇もないのでは・・・子供がせっかく生き生きやっているのに、親が心配ばかりの一週間を過ごして、輝いている子供を迎えるには、せっかくのプレゼントも台なしになりそうです。

そこで私もスタッフとして、一週間楽園村に来た子供達と過ごすことにしました。子供を産んだから親になったではなく、もっと大きな親になれるよう、親子で、自分の力で何かをのりこえる快感を味わってきたいと思っています。

次号ではまたそんな報告もしたいと思います。



最後に、前号でお知らせしていた「奈良の集まり」はバラも満開の靈山寺に10名が集まりました。大阪から神谷さん、末松さん、またガスパビリオンから男性二人、笹田さんと角田さん、日本庭園の高橋孝子さん、辻洋子さん、ソ連館の木村喜子さん、坂上さん、村田さんと私。

新緑に囲まれた靈山荘で天平御膳をいただきながら、ゆったりと楽しい時間を持つことができました。

會計報告

|          | 摘要   | 収入      | 支出     | 残高      |
|----------|------|---------|--------|---------|
| 1. 3. 20 | 繰り越し |         |        | 24, 164 |
| "        | コピー代 |         | 2, 700 | 21, 464 |
| "        | 切手代  |         | 5, 500 | 15, 964 |
| 1, 5, 10 | カンパ  | 10, 000 |        | 25, 964 |
| "        | コピー代 |         | 2, 780 | 23, 184 |
| "        | 切手代  |         | 5, 676 | 17, 508 |
| 1, 6. 4  | カンパ  | 10, 000 |        | 27, 508 |



バルサムとマイケル

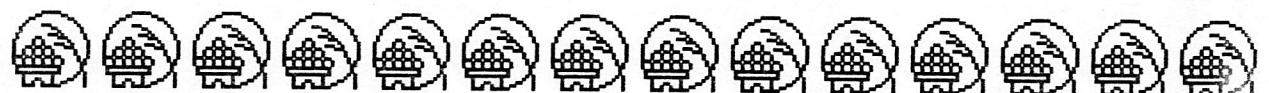
このアストロラマ、子供が喜んで読んでいる、とかおじいちゃん、おばあちゃんが楽しみに読んでいます。とか嬉しい声が聞こえています。

そんな愛読者の方から、一万円のカンパをいただきました。どうも有り難うございました。

では、次号をお楽しみに。お便りも待ってます。

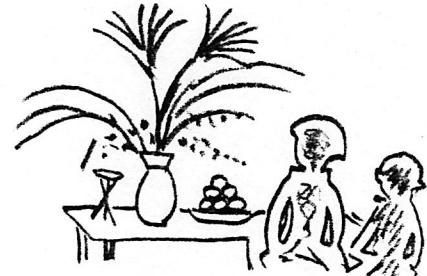


# アストロラマ N. 56



発行者 桑原由紀子 生駒市上町9-12 ☎ 07437-8-1969

1989.9.20



ハーイ、皆さんお元気ですか？暑い暑いと言って過ごして、前号から早2か月、楽園村で味わった感激もボチボチうすれてきたこの頃です。

私達が行った8月1日から8日は雨が多く、それもほんぱじやなくて、本当にどしゃ降り・・・だけどその雨も楽しめたって感じです。私にとっても初めての楽園村、三重県の春日山実験地ってところでは、全国から、幼年、小学生700余名の子供達が参加していました。

そこで私は、1, 2年生約30名の、お母さんをやらせていただいて、はじめは家で1人の子供相手にオロオロしててるのに、30人もの子供のお母さんがやれるかなって思いました。でも実際やってみると、本当にお母さんって側にいて見てるだけでいいんだなあってことを実感しました。

子供達はどんどん自分達で何でもやれるようになっていきました。そしてやれることが楽しくてしかたないようでした。700名の子供をそうしてみていくお父さん、お母さんは皆私と同じようなやりたい人が全国から集まっています。

ある友人が「スタッフをやっていくらもらえるの？」って聞いていましたが、お金にも何ものにも縛られない自由さ、ただやりたいだけ、何でも軽く「ハイ」でやれる自由な自分に気がついて、それだけでも関わってよかったです。

どんどんやりたくなる不思議な世界です。この前のバルサム達の時も感じたことだけど、本当に私がやれるところを少しやるだけで大きな動きになっていくんだなあつと思い、また他の皆さんも同じようなことを味わっているんだなと思うとすごく身近に感じる・・・そんな思いからも、仲良しが深まっていくみたいです。

楽園村から帰るとき、子供達の感想文をアストロラマに載せたくてもらっていました。子供達の字のままで載せたかったけど紙面がいっぱいになるので、清書しました。内容はそのままです。

堺市の伊藤あやみちゃん（2年生）の感想文から



ここに来る時、ちょっと泣いたけど、毎日毎日おもしろいことがいっぱいあったから、だんだん元気をとりもどしてきました。

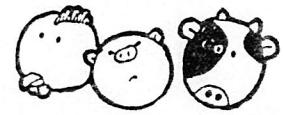
お山の運動会、おすもう大会、みんなおもしろかったです。とてもおもしろくてたのしかったです。それと夜いつもするハレハレ集会もおもしろかったです。



四日市市の田中愛子ちゃん（1年生）の感想文から

はじめは、ちょっと泣いている子がいたけど、すこしなってからないでた子もハレハレになりました。それからみんな、仲良しになってたのしいです。

一番楽しかったことは、お山の運動会です。それにお友達がいっぱいできて楽しかったです。



横浜市の磯田 藍ちゃん（2年生）の感想文から

くる日は泣いている子が多かったけどもう泣いている子はいません。わたしのいちばん、印象にのこったことは、お山の運動会です。いろいろ楽しいことができました。わたしのチームはUHOチームです。お兄さんやお姉さんみんな仲良しになりました。どんどん得点がよくなって兄弟のようにとっても仲良しになりました。お山の運動会は学校の運動会とは違うなと思う。お山の運動会は兄弟のように仲良しになることや、あかるいこどもらしい子供になる練習だなと思った。子供らしい子って「ハイ」ですねおな子だと思う。お山の運動会は、競争じゃなくなかよく、たのしくまなぶことだと思う。家でも頑張る。



こんなふうに子供たちは、自分のちからで、泣いてた自分から、明るくやつていこうとする自分にきりかえてきました。はじめはみんなよその子って思っていたのに、日に日にかわいくなって、さいごにはみんなわたしの子に思えてきました。そして自分の班の子だけじゃなく春日山にきた子供たち、はては全国各地の楽園村に参加した子供たちに思いをめぐらせるようになりました。沙代ちゃんに対してもそんなひろーい目でみていきたいとおもうこの頃です。



楽園村の報告おわり

## 美保さんを囲んで



9月11日、夕方5時から美保さんを囲んでお喋りタイムを持ちました。いろいろ声かけはしたのですが、結局参加者はバルサムに関わった方ばかり、末松さん（中島）、今西さん、長谷川さん、宮脇さん、坂上さん、桑原でした。

場所は京橋駅の近くの「ふるーと」ってお店。ここは私の友達の店で、何と1人3,000円程で5時から貸し切りでおいしいお料理が次ぎ次ぎと並び、ちょっとしたパーティー会場です。飲み物も持参できるフリースペースの店で、私達ばかりではあまり儲けにならないとおもうけど、遠慮なくタッpriおしゃべりするには最適でした。

美保さんとの会話はいつもながら、眠っている何かを呼び起こされるような、今すぐにでも自分が動き出せる暗示にかかるような、とにかく「ああ、お話しできてよかった」って思えます。とらわれない自由な心で楽しく生きる生き方。私のめざす生き方をしていらっしゃるので余計あこがれるかもしれません。

そんなキラキラした美保さんの日々とか、お友達とのかかわりとか、いろんなことをちりばめて、美保さんがまたまた一冊の本を出されました。

### 「こだまする暮らしのリズム」 ～ボストン滞在の六年間～

という本です。読みたい方（欲しい方）は末松さん（0726-26-6784）に申し込んで下さい。本代1,200円+送料が必要です。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆ お知らせ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

平成2年5月19日の第2回万博同窓会に向けて、第1回目の準備委員会が去る7月9日、千里の万博協会本部がありました。みどり館からは末松さん、藤村さん（高谷）、田中さん（浅井）、熊谷さん（下村）が出席して下さったそうです。

来る10月29日（日）に2回目の準備会が予定されています。どなたでも結構です。出来るだけたくさんの方にかかわって欲しいと思いますので、都合のつく方、よろしくお願ひします。私の経験から、準備の段階からかかわると、本番の同窓会が倍楽しめます。これホント。

## 生駒市の「高山竹林園」の紹介

「茶せんの里」で本格的な茶道の世界にふれてみませんか？

奈良県生駒市高山町は室町時代から続く茶せん作りの里。ここに7月オープンしたばかりの「高山竹林園」は、茶道に少しでも興味のある人なら一度は訪れてみたい。約2万7千平方メートルの広い丘陵地に資料館や茶室の「竹生庵」（ちくぶあん）、竹の生態園などがある。資料館には約50種の代表的な茶せんのほか、ち密な作業工程が一目で分かるように展示されている。

「竹生庵」は本格的な茶室。四畳半の部屋と水屋を備え、茶道具一式も揃っている。もちろん茶せんは最高級品だ。とかく難解と考えられるがちな茶道も、ここでなら落ち着いた雰囲気のなかで、自然にアプローチすることができる。

生態園での散策もお勧め。約50種、1500本以上の竹が植えられており、遊歩道を歩きながら珍しい竹のいろいろを観察できる。

近鉄奈良線富雄駅で奈良交通バス「傍示行き」に乗り換え、上大北で下車、徒歩10分。マイカーなら高山大橋交差点を北へ向かい、鷺山の大橋を渡ってすぐ。

資料館展示室や生態園への入場は無料。

以上産経新聞（9月17日）より

ということで、私の家の近くに、すてきな所ができました。また少し足をのばすと、「くろんど池」もあり、バーベキューをしたり、ボートに乗ったりも出来ます。

いよいよ行楽の秋、一日ゆったりと出かけてみませんか？

さて、私たちお琴の好きなメンバーは、早速竹林園の和室を借りて、サロンコンサートを計画しています。11月12日（日）に竹林園をおとづれた方は、散策しながらお琴の音を楽しめるでしょう。

~~~~~

## 会計報告

	摘要	収入	支出	残高
1, 7, 30	繰り越し			27, 508
〃	コピー代		3, 151	24, 357
〃	切手代		5, 580	18, 777



# アストロラマ No. 57



発行者 桑原由紀子 生駒市上町9-12 ☎ 07437-8-1969

1989. 12. 1

皆様こんにちわ。夏にアストロラマを出して、さあ行楽の秋！芸術の秋！って燃えていた矢先、9月に、義父が入院、治療の甲斐もなく10月に死亡、11月に忌明の法要を済ませたところで、あたりはもう冬の様子になっていました。義父の葬儀の折りに弔電をいただいた有志の皆様、ありがとうございました。何もかも初めてのことで、随分忙しい思いをしましたが、少し落ち着いて57号を出す余裕もできました。こんな私よりも、もっと大変だったどう北村淳子さんからお便りをいただきました。彼女とお話しした結果、「もう皆様にもお知らせできるようになったので書きました」ということでしたので、ご紹介します。



★★★★★★★★★★★★★★

突然のお手紙で驚かせてしまいそうです。

ことし3月に、夫が急死しました。会社の勧めで代わって私が資生堂に勤めはじめて半年になります。

生活がすっかり変わりましたが、それなり仕事にも、会社の人達にも慣れてきて最初ほどは、疲れなくなりました。たくさんの人達が、それぞれに懸命に働いている様子を目にして・・・特に私より20才ちかく若い人達でさえ、しっかりと働いているので・・・しっかりしなければと、元気づけられます。無愛想だった電話の応対も随分と柔らかくなりました。会社勤めは初めてだったので、どうなることかとおもいましたが、夢中で過ごすうちに、いつのまにか会社の一員として多少なりとも役立つようにはなっているようです。

資生堂には、やはり馴染みがありますので、商品などの知識も多少ありましたし仕事の内容も少しほ分かるので、慣れるのが早かったようです。延夫さんを知っている人が会社の内外にたくさんいて、折りにふれ気にかけてくれたり、声をかけたりしてくれます。

40才をすぎての、就職にしては、恵まれているのかもしれません。お給料の方もそこそこ戴けますし、心配した生活の方も、一人減った分もあって、おかげで以前と変わりない位の生活は出来そうです。

朝は8時半に家を出て、帰りは大体7時過ぎになります。バスの通勤ですので道路の混んでいる時は8時頃になることもありますので、夕飯が遅くなり大変ですが、子供二人が少し準備をしてくれたり、片付けを手伝ってくれるので助かります。日曜日とほとんどの月曜日が休みですが、日曜日はたまたま家事や、買物をして月曜日は近くのクラブで、以前のメンバーとテニスをしたり、車で一時間程の会社のテニスコートにでかけて、会社の人達とテニスをしたりしています。勤める前は週に何日もテニスをしていたので、会社の人達の中では腕の方もかなり上方で、男の人達とも対等に打ち合って、楽しんでいます。

二人の子供も、年は3才離れていて、中学一年と高校一年なのにここ半年の間に私をすっかり追い越してしまって、いつのまにか私の方が見上げるようになっています。十年前の写真では本当に幼児でしたのに、いつのまにか時が過ぎ、確実に成長していたのですね。

反対に私はこれからは、たぶん色々な面で衰退していく年になっているのでしょうか、突然の生活の変化と会社勤めで少なからず私もまだ成長できそうです。また十年たてば子供達も成人してきっと頼りになることでしょう。しばらくは、体に気をつけて頑張ろうと思います。

勤務先 横浜市中区弁天通り4-50

資生堂 横浜支店 業務部

Tel. (045) 701-9971です

★★★★★★★★★★★★★★★★

アッちゃん、悲しみを乗り越えてお便り本当に有り難うございました。私の方が随分励まされた思いで読ませていただきました。どんな時もアッちゃんのように生きいきと前向きに生きたいと思います。

また、多くのカンパも有り難うございました。

次ぎは毎度おなじみの末松具子（中島）レポーターから、いつもながらよくこんなに動いて書けるなって思うほど盛りだくさんの記事がきました。

由紀ちゃん、この度は同居されたばかりのお父様が、お亡くなりになられ、残念で何と申してよいやら、言葉もできません。一か月余りの貴方の看病ぶりを想像すると、アストロラマに楽しくお便りすることが心痛む思いでした。でも数日前、由紀ちゃんの声を聞いてホッとしました。由紀ちゃんはやっぱり逆境にも強い人ですね。貴女自身が一年前に大きな病気をしたときも教えられる事が一杯ありました。私、アストロラマは続けるよ！これが私の支えなの・・・。いつもニコニコ笑って、私の下手な原稿でも活字にしてくれるものね。これからは残られたお母様を大切にしてあげて下さい。そして又、楽しくアストロラマを書き続けてね。ではさっそく10月1日からのリポートです。

10月1日 美保さんと歩こう会では六甲の再々山(ふたたびさん)に登りました。自由参加で集まったメンバーは、杉原 硬さん、美保さんご夫妻、西宮さん(79才)、神谷さん(万博協会)、宮脇さん、足立さん、他松下の方2名、友人の門田さん、長谷川さん、今西さん、吉川ふく子(山根)さん、末松、園児2名の計15名でした。

お天気も良く、まさに「ハイキングの秋」を楽しんだ一日でした。

10月31日 高野瀬生（富阪）さんの書道

展へ・・・たまたま10月31日に東京へ行く予定だったところに、東京メンバーがこの書道展に集まるというニュース。いつもながらタイミングの良さに驚きながら朝一番の新幹線で東京へ。ホームまで順子姉さん（朝日）が迎えにきてくださいました。そこから待ち合わせ場所の小田急百貨店の花屋へ、ところが休業日でどこが花屋かわからず大失敗。とにかく目的地の新宿センタービル51Fの朝日生命ギャラリーへ。「延年寿」という彼女の作品は素晴らしいものでした。

観覧後、同ビル53Fで昼食会、メンバーは、高野さん（富阪）、橋本さん（豊田）、大崎さん（横井）、堀さん（福山）、岩間さん（朝日）、中川さん（貴田）、山崎さん（太田）、相原さん（近藤）、末松（中島）の9名でした。

話題はもっぱら受験生と老人同居問題。下界（？）を眺めながら、3時間ほどお喋りを楽しみました。

翌11月1日はサントリー美術館で「藤の木古墳とその時代」展を見、それから銀座松屋で相原さんの推薦で「昭和の洋画100選展」を見てきました。そこで岡本太郎、白髮一雄（覚えてますか？みどり館のエントランスホールにあったフットペインティングの画家です）の作品を懐かしく見てきました。

そして私が最近習い始めたフラワーアレンジメントのマミーフラワー展を見てきました。フラワーアレンジメントに関しては、関西と関東の違いをさまざまと見て来て、ショックをうけました。

今回の東京行きでの思いがけない出来事は、銀の鈴で美保さんにバッタリ会えた事。この広い東京で、お互いにブラボー！とよろこび感激！  
そして次ぎの「歩こう会」の約束成立となりました。

11月12日 美保さんと歩こう会は箕面を行きました。この日に先がけては、近くのみどり館の皆様にお誘いのハガキを出したのですが、余り返事がこなくてがっかり・・・落ちこんでいたところに、宮島さん（高見）から子連れで参加しますと嬉しいお電話。

当日の参加者は、西宮さん、美保さん、足立さん、玉村さん、宮島さん、あらた君（6才）えりかちゃん（2才）、末松の8名。この集まりは年齢制限もなく本当にどなたでも大歓迎！みんなあったかい心の方ばかり、こんな企画をどんどんつくりますので、是非参加してみて下さい。きっとすてきな出会いがありますよ。

この日は久しぶりに小さい子供さんにも接して楽しい一日でした。美保さんは自然破壊につながる割り箸を使わないようにしていらっしゃるそうです。何でも気がついたことを思うだけで終わらさないで、一人でも実行に移す。とても勇気のいることだけど見習いたいものです。

おわり

末松さんいつも有り難う。これからもアストロラマ記者として頼りにします

報告 1

11月26日、第2回目の同窓会準備会が、万博協会本部でありました。みどり館からは、田中照美さん（浅井）が出席して下さいました。

報告 2

11月27日、阿倍野の東映ホテルで、末松さん、宮島さん、田中さん、桑原の4人でバイキング料理をいただきながら、しばらくお喋りしてきました。私にとっては、久しぶりの再会でした。

## 會計報告

	摘要	収入	支出	残高
1. 9. 20	繰り越し			18, 777
"	コピー代		2, 780	15, 997
"			5, 208	10, 789
1. 10	カンパ	10, 000		20, 789
"	カンパ	1, 000		20, 789

最後に、このところアストロラマにも毎回登場して、もう皆様にもすっかりお馴染みになりました、杉原美保子さんからも原稿をいただきました。

### シュツットガルトの老人の住居を訪ねて……杉原美保子

私はこの夏、西ベルリンでの夫の学会の後、ドイツ語の先生のお姉さん、ライマン婦人をシュツットガルトに訪ねた。11年ぶりなので彼女は83才。今も公立のアルタースハイム（老人の住居）に住んでいる。

300人の老人の住むこの9階建てのハイムでは、炊事も掃除も自分でして生活している人のフラットが正面から左半分。食事を食堂でとり、週に一度部屋の掃除をしてもらっている人たちのフラットは右側の5階まで。その上が一日の大半を寝ている人のものとなっている。

ライマン夫人は台所付きのフラットで自分で生活していた。彼女は同じハイムにいる、もと看護婦で、今はボケて体も不自由な93才の婦人を毎日10分ほど訪ねることにしていた。彼女は食事の時には、見晴らしのよいテーブルの前にすわらせてもらう。私が訪れたときも、大きい声で独り言を言いながら、ひとりで食べていた。ライマン夫人は明るく話しかけながら、手早く部屋の中を片付けた。

ベット生活の人でも、少しきりしている人は、看護婦に助けられて、車イスで各階にあるロビーで数人一緒に三度の食事をしたいた。

ライマン夫人と一緒に金曜日の9時から45分間、体操教室にも出席した。14.5人が輪になってイスに座り、美人の中年の先生と軽い体操が始まる。8階の総ガラスの窓から見える木々の緑がほんとうに美しい。ジョークがとびかい笑いが絶えなかった。10時からは車イスの人たちのクラスである。

また午後から7、8人で裏の森へ散歩に出かけた日もあった。ここでは市民のために森が大切にされ、法律で保護されている。よい場所をゴルフ場にとられてしまい、市民が手軽に歩ける森も少なくなった日本の政治をなげかずにいられなかつた。

またライマン夫人がシュツットガルト大学に「イスラム教」の講義を聞きにいく日には私も一緒に出かけた。そこは第一次大戦のころまで王様が夏を過ごしたという立派な宮殿で、回りの植物園も全部、大学のキャンパスになっている。

近くの教会に、シャガールの宗教画の解説も一緒に聞きにいった。1才の子供をもつインテリジェンスにあふれたやさしい美人の牧師が、夫の牧師と共に毎月一回ケーキを焼いて人々を招く。夫のスライドの協力で、明せきな彼女の説明は言葉の壁を越えて魅力的であった。

私は彼女の家で夕食をご馳走になると、いつも8時過ぎに別棟のゲストハウスに引きあげた。

このハイムには訪問者のためのホテルのようなゲストハウスがある。もうそのころになると、各戸のドアは閉ざされ、人っ子ひとりいない廊下は真暗闇である。でも歩きながらところどころにあるスイッチを押すと、廊下の電気は3分間だけついて、通り過ぎたあとはまた静かな暗闇に戻る。何だか心細くて私はいつも小走りで帰ったものであった。

ドイツもフランスも大学や研究所はこうして節電していた。チェルノブイリ発電所の事故が起こったのは私がボストンにいるときであった。当時、欧米の友人たちはとても真剣に原発の存続について議論していた。そのとき33基、日本には原発があった。欧米ともに住民の反対で、その施設を減らす方向であったが、日本に帰ってくると、38基に増えていた。

私はいま、原発に反対するだけではないと思い、自分一人で節電をしている。

この旅で、ライマン夫人の生活にふれて、これから自分の生き方、また子供への教育についても考えさせられた。いつまでも学ぶ意欲を持ち、好奇心を失わない人生は何と豊かであろうと……。

おわり

美保さん 有り難うございました。

前号で紹介した本、「こだまする暮らしのリズム」もたくさん売れたそうで、おめでとうございます。売上の5分の1は末松さんの力とか、ほんとに彼女のパワーには驚きます。

ところでまた、新しい本の紹介です。

私の大好きなお琴の先生、吉岡絢子さんの本がでした。

昨年、京都新聞に毎週日曜日に連載されていた「母のみとり記」が、一冊の美しい本になりました。タイトルは……「母の旅立ち」私のみとり体験です。

申し込みは、桑原まで(07437-8-1969)本代は税込みで1,339円です。

ではまた次号をおたのしみに!

もう来年まで出せないと思いますので、皆様体に気をつけて良いお年をお迎え下さい。

なお、私の方、

喪中につき年末年始のご挨拶ご遠慮申しあげます。



# アストロラマ N. 58



発行者 桑原由紀子 生駒市上9-12 ☎ 07437-8-1969

1990.1.20



皆様こんにちわ。お元気で90年代を迎えたことだと思います。私も二度目の成人の日(?)を過ぎて、ますます哲学しながら生きたいなと…というとなくやら難しそうだけど、常識とか当たり前とか思われることをもう一度、本当はどうかな?と0(ゼロ)の状態から考えてみる…そんな生き方してみたいと思います。

いつだったかE S C C の集まりで元日本万国博協会公報部長の藤田氏のお話を思いだします。錯覚に捕らわれないで、自由に楽しく生きましょう。本当にいろんな事を考えさせられる言葉だと思います。今年はそんなことを考えて実践していきます。

大阪万博から20年、お茶の間だよりからアストロラマと名前は変わったけど、第1号を出してから10年、本当にウソみたいな年月が過ぎたわけですね。何でも続けてれば嬉しい事があるもので、今回は私にとっても、皆様にとっても嬉しいニュースをお知らせします。

実は昨年のクリスマスの日、「横浜の秋山です。」って電話がありました。おもしろいことに、お互い顔も覚えていない状態なのに、話しさはといえば、まるで昨日別れた友達と話してるみたいでした。そのとき、『アストロラマ』に当時の楽しい裏話、苦労話を書いて投稿したいということで、今年の『アストロラマ』作りは楽しみだなあと、原稿を待ってたところ、来ました、来ました。私一人楽しんでは申し訳ないので、早速58号を発行しました。では秋山さんからのメッセージに続いてアストロラマサイドストーリーをお楽しみ下さい。

こんにちわ。秋山 智弘です。

『アストロラマ』をいつも楽しみに読ませていただいてます。

関西地区の皆さんはもちろん、東京でもときどき懐かしい仲間が集まっておられるとか。何よりも、桑原由紀子を中心におさんが、この素敵なお冊子をつくり続けておられることに、ただただ敬意を表します。

大阪万博は、今なお高く評価されていますが、期間中にできあがった人材の絆によって、今日の日本の文化は支えられている、と言う人—小松左京氏—さえいます。

あれから20年。あの博覧会が、1970年の6か月だけのことではなく、今も、皆さん一人ひとりの人生に、自信と誇りをもたらしてくれていることに、気づいておられるはずです。

私も、これまでいくつか博覧会をつくってきましたが、大阪万博の体験こそ、すべての原点であると思っています。

みどり館アストロラマは、世界中にまったく存在しない映像表現へのチャレンジでしたから、創る過程は毎日が難問との戦いでした。

泣いたり、笑ったりしました。

20年もたったので、もう制作現場の思い出は、昔話です。

アストロラマは、個性豊かな人々が繰り広げる、大真面目でちょっぴりアホらしいドラマの中から生まれたのでした。

そのときの仲間。名利にうとい、愛すべき人々の心を、気軽なコラムに書いてみようと思います。何回続くかわかりません。

みなさんの青春の自画像に重ねて、「誕生」「前進」の画面を思い出していただければ、幸いです。



アストロラマサイドストーリー 1



## 「前進」冷や汗 いろは坂

アストロラマ「前進」の撮影に入ったのは、1969年の10月だった。「誕生」という作品は、ほぼ完成しており、これとはガラリと違った文句なく楽しいものをつくろうと思っていた。





# アストロラマ N. 59



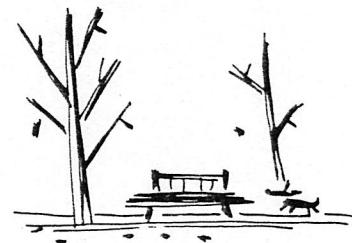
発行者 桑原由紀子 生駒市上町9-12 ☎ 07437-8-1969

1990. 3. 1

皆様こんにちわ。花博開幕まで秒読みってところですね。アストロラマサイドストーリーを書いて下さってる秋山さんも、忙しく、楽しく、花博準備に関わっていらっしゃることと思います。

この花博のコンパニオンの中には、私たちEXPO'70コンパニオンの二世、つまりお嬢様が3人もいらっしゃるんですよ。

アメリカ館にいらした秋沢珪子さん、住友童話館にいらした中村裕子さん、エキスポフラワーだった奥田美三恵さんのお嬢様方です。親子でこんなステキな体験ができるなんて、本当にすばらしいことだと思います。健康に気を付けて、EXPO'90の華としてご活躍されますよう、応援しています。



私達、お琴大好き人が作っている「邦楽グループ彩（あや）」も花博会場で演奏します。

6月3日（日）政府苑で、30分の出し物を4回の予定。

6月22日（金）咲くやこの花館で11時から12時半の予定です。

どんな出あいが待っているやら・・・また楽しみが増えちゃった。

邦楽グループ彩（あや）のメンバー

琴・桑原由紀子、小山利恵子、谷垣千鶴。 尺八・桑原仙山、小山政夫

3月3日には、第3回尺八三本の会あうんのコンサートがあります。関西の方、招待券を送らせていただきましたので、聞いてみたい方どうぞいらして下さい。尚、来られなくても、気にしないで下さいね。

2月11日（日）

5月19日に行われる、「日本万国博覧会20周年記念同窓会」の準備委員会がありました。朝からの雨にもかかわらず、30名位出席でした。我がみどり館からは、東泰木寸さん（高谷）、末松さん（中島）、桑原（兵頭）の3人でした。末松さんには、茨木駅から協会本部まで送迎して下さって有り難う。彼女のお蔭で奈良からの参加もあり苦になりません。

いつものように、神谷さんを中心に案内状の内容とか、同窓会の内容など検討しました。次回は、3月11日に予定されています。準備する楽しさ、味わってみませんか？



**提案**・・・5月19日の同窓会の時、みどり館だけの同窓会もやりたいなと思っているのですが、19日終了後、どこかで一泊、翌20日正午解散なんのはいかがですか？



## 本の紹介

中村裕子さんを中心とした翻訳グループによって、チェコスロバキアに伝わる民話の本が、フランス語版から翻訳され、出版されました。

「白いお姫さま」（新読書社、3,500円）・・・チェコの作家マリア・ジェリチエコワがまとめた24の民話が上品な色の美しい挿絵と共に収められています。

興味のある方、読んでみませんか？

綿貫先生、たくさんのカンパを有り難うございました。

前号でご紹介しました、西宮氏から、又々嬉しいお便りいただきました。

秋山智弘さんのニュースでこの10年もあなたが続けられた「アストロラマ」とはEXPO'70のみどり館アストロラマに因んで命名されたことを知りましたし、「前進、ひや汗、いろは坂」も、どの集団にも機智縦横のユカイな仲間が居るものだと読みながら、ニヤニヤ一人笑いました。

又、先日「美保さんと歩こう会」で箕面へ行ったとき、杉原美保子さんが、「近頃食堂でのワリバシに疑問を持ち、どこへ行くのも自前の箸を持参している。はじめの頃はホテルや高級レストランでははづかしかったが、ヤットこの頃抵抗なしに、他人にはばからずに、ドコででも使うようになった。勿論、夫の硬さんも賛成実行している」との話を聞きました。私は早速、半畳を入れましたよ。

「中学生時代、明治の初めに『割箸亡國論』を唱えた人があったのを国語の先生から聞いてますよ。その頃は美しい森林が方々にあったものですね」・・・と。

西宮さん、お便りとたくさんのカンパ有り難うございました。箸を持つことによって、常に環境問題を意識する。···一人一人が意識して何か行動を起こすとき、世の中の常識とか当たり前の事も少しづつ変わるのでしょうね。

A horizontal row consisting of 20 identical black five-pointed star icons, evenly spaced across the page.

アストロラマサイドストーリー 2

秋山智弘

# 「三島由紀夫とアストロラマ」

世界最大のアストロラマを出展することを決めたものの、万博まであと3年の時点で「みどり会」首脳陣は緊張していた。コンセプトやシステムは僕たちがほぼ固めていたものの、何分、若くて無名。心配でしょうがない。誰か 著名な人にスタッフになってもらい、シナリオの執筆や演出を依頼したい。それが首脳陣の願いだった。

でも、映像は年齢や知名度ではなく、一つの感性だから有名な劇作家や作曲家が必ずしも適任というわけでもない。うまく話がまとまらない。

三島由紀夫という人は、当時の日本を代表する作家であり文学界の華のような存在だった。その三島氏に演出を依頼するので、僕にアストロラマの機能の説明役をしてほしい。そんな話が持ち込まれたのは爽やかな春の日だった。

料亭の奥まった部屋で会談がはじまった。みどり会の偉いサンたちに混じって、僕はアストロラマの仕組みや演出方法を説明していった。



相手の三島氏は、まったく落ち着きのない人であった。

目がたえずきょときょと動く。僕の顔を正視しない。

相手のせいで、こちらもそわそわした気分になってしまう。

やがて、料理が運ばれてきた。工夫をこらした懷石料理。吟味された器もなかなかのもの。ところが、中居さんが三島氏の前に料理をおいた途端、彼は貧るように食べ始める。輝くように和紙に盛られた天ぷらが、あっと言う間に消えてしまう。すべての料理がペチャクチャという音とともに食べられてしまう。

僕は考えた。この人は、あの美しすぎるほどの文章で、女性の心の奥まで描きつくす作家なのだ。優雅な小説のイメージと、作家の実際の行動が同一でなければならない理由はないけれど、それにしてもかけ離れ過ぎている——。

これは、僕達に対する、アストロラマに対する明らかな拒絶なのだ。自分の才能は、巨大な、——たぶん彼にとっては虚ろな——映像空間を埋めるためにあるのではない———そう言っているのだ。

僕はアストロラマの話をやめた。ものを作る者にだけわかる、あの信号を、三島氏は発信していたのだ。

三島氏の前のメロンが皮だけになったとき、彼はぱつりと言った。

「秋山さん、あなたが作品を二つ作ったら、次に私にやらせてください。」僕はうなづいただけで、彼の目をみつめた。

全く新しい表現手段が、ひとつのスタイルを持つまでに成熟したとき彼はアストロラマを作ろうというのだ。

それは、自己を知りつくした人間が、凡庸にたいして言いうる、唯一の思いやりのある表現だったのだ。

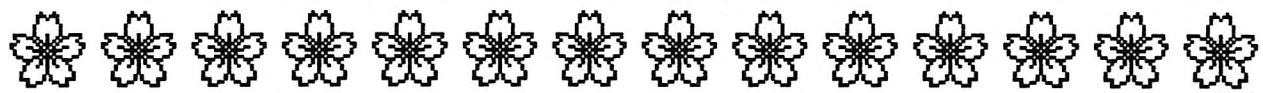
三島アストロラマは、実現しなかった。しかし彼は確実にアストロラマ作りに参画していたのだ。

万博が終わったころ、土方翼氏を囲むパーティで三島氏にであった。美女にかこまれた彼が、遠くから僕に気づき、笑いながらひょっこり頭をさげた。僕はその笑いに、ふと、陰りを見る気がした。

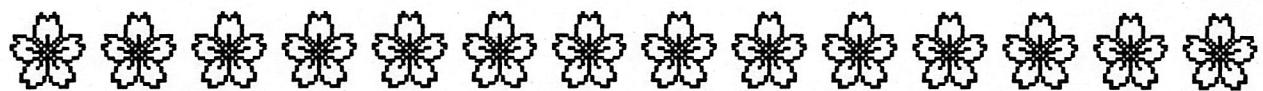
作家三島由紀夫が、壮絶な死のドラマを演じたのは、その一週間後のことであった。

## 會計報告

	摘要	収入	支出	残高
2. 1. 20	繰り越し			33, 573
〃	コピー代		3, 600	29, 973
2. 2.	切手代 カンパ	20, 000	5, 614	24, 359
				44, 359



# アストロラマ N○. 60



発行者 桑原由紀子 生駒市上町9-12 ☎ 07437-8-1969

1990. 4. 1



皆様こんちわ。入学、進学など春、巣立ちの季節ですね。我が家のヒナも今まさに、自分で卵のカラを破って巣立とうとしているところです。4月15日からヤマギシズム学園幼年部に入学します。場所は和歌山県の六川実顕地です。「あうん」の会も終わりました。あいにくの雨にもかかわらず、神谷さん、宮川さん、末松さん、聴きにきて下さって有り難うございました。

このところアストロラマを毎号送させていただいている西宮さんとても積極的にアストロラマを楽しんで下さって本当に嬉しく思います。

その西宮さんのお便りから・・・

秋山智弘さんの「サイドストーリー2三島由紀夫とアストロラマ」を読んで、こんどは内容にも面白いと感じた他に、秋山さんはじめアストロラマ同人の皆さん、文章がうまいなと感じました。今はやりのことばの通り、感性をゆたかに持っておられるのだなあと感心しました。

「準備する楽しさ、味わってみませんか?」この一句にも感心しました。さすが女性の方の呼び掛けはやさしい、暖かいことばだなあとね。

西宮さんには、お便りと一緒に、「切手集めの熱がさめたからアストロラマで使って下さい」ときれいな切手をたくさんいただきました。2円切手までそえて。本当に細やかなお心遣い、有り難く活用させていただきます。その折りのお便りに、

「若い頃から手許の品でも、自分のからだでも常に、ready to use, ready to start の姿にしておくことを努めていましたのに、この頃はもの忘れがハゲシク・・・」ってありましたが、これは本当に簡単なようでなかなかできないことだと思います。アストロラマ読者の皆様いかがですか? 私なんかいつも西宮さんの言葉は私のために言って下さるるように聞こえます。西宮さん、いつも有り難うございます。

次ぎにおなじく積極的にアストロラマを楽しんで下さってる美保さんのお便りから・・・

アストロラマ、お礼状をと思ううちにまた59号を頂いてしまいました。いつも有り難うございます。楽しみにすみずみまで読ませて頂いてます。秋山さんの三島由紀夫とのお話し、何だか目に見えるようなシーンでした。そして心理描写にスゴイナアと感心しました。春がちかづいて、お琴と尺八の音色が梅の向こうから聞こえてきそうですね。先日、フルートとハープの演奏を聴きに行きました。うちから近いところのご夫妻が、Home Concertができるような、といつてもそんなに大きい部屋ではありませんが、Hallに2階への階段もつけて、3、40人が階段にも座り、2階からも見下ろせる、そんな設計の家をつくられ、年に3、4回Concertをされるんです。フルートの音色は尺八と通じるものがあるでしょう。私Bostonでもランバールのフルートを聴きに行ったとき、アンコールでさびた日本の曲が演奏されたんですよ。私もフルートやりたくなりました。

こちらでも市の通訳のボランティアでたくさんの方が私の本を読んで下さり、こんな友人の輪も広がった次第です。家に閉じこもらず、外へ出て行くことの大切さを思います。さて私の本にいつも皆様で応援して頂きほんとに有り難うございます。1月10日号の「クロワッサン」にもおすすめ本として出して頂き、日本図書館協会からも、選定図書に選ばれた旨、通知がありました。でも考えてみると、末松さんや桑原さんはじめ皆様の方がいち早く選定して下さってたんだと思い、感謝を新たにしています。

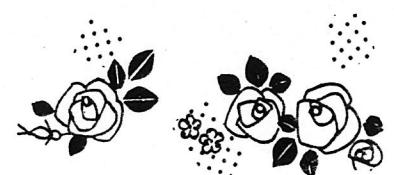
美保さん、いつも有り難うございます。私もConcertができるような家が欲しい!

万国博ホステスだった渡辺由合さんのお便りから・・・

定期的にこれほどまでのニュースを皆様にお伝えになっていらっしゃるなんて、みどり館関係の方、このような桑原さんをお仲間に持てて、本当にラッキーだと思います。日々の雑事に追われているのが人の常、御自分の時間をやりくりして、取り組んでおられるのを垣間みて、暖かみが肌についたわってきます。

由合さん、やさしいお便りと、切手を有り難うございました。

さて、最後はお待ちかね、モグの登場です。実は60号は彼女からの強い要望で急拵発行することになり、次ページは彼女からの原稿です。  
本格的なワープロを買い、今や原稿から住所録、タックシールまで何でもこなし(?)  
アストロラマ作りも随分助けられています。



受験生を、お持ちのご家族の皆さん、もうそろそろ落ち着きましたでしょうか？

精一杯の努力に、皆で心から拍手を贈りたいですね。

御卒業お目出度う御座います。

さて、花博も後数日に迫りました。そして、万博20周年記念同窓会の案内状も、お手元に、届いた事と思います。4月5日迄に正しい住所と出席を書いて出して下さいね。

3月11日（日）は、万博協会の幹事会が有りました。

久しぶりの晴天に恵まれ、みどり館からは、藤村（高谷）さん 田中（浅井）さん、がお手伝いに、来て下さいました。私も、72名の宛名をタックシールに、ワープロで打つ持つて行ったので、思ったより早く済りましたが、彼女達の手際のよさには、感心しました。お陰で他の館の方の分まで、して下さったので大助かり、有難う御座いました。

3月12日（月）は、中村さん達5人の、出版記念祝賀パーティーでした。

中村さん（住友童話館）の、お人柄が、忍ばれる手作りの、心暖まるパーティーでした。それに、桑原さん御夫妻の琴と尺八による演奏も良かったし、珍しいストリートオルガン（ドイツ製）の演奏や、シャンソン、朗読と楽しいパーティーでした。

\*中村裕子他訳 マリア・ジエリチコワ文 チェコスロバキア民話「白いお姫さま」翻訳

-----\* \* -----

話は、変わって5月19日（土）の同窓会の件について、皆さんからいろいろ御意見や要望が届きましたので、まとめて書かせて頂きます。

5月19日（土）は、万博会場周辺の道路が、前回の様に、大混雑しないか？

\* 大丈夫です。前回は、春休み最後の日曜日だったのと同時に、桜の花見時でしたが、今回はそれも、充分考えた上です。

みどり館だけの同窓会は、5月19（土） 5時30分より東洋ホテルにて（予定）

\* 具体的な事は後日、元事務局の方から、お知らせさせて頂く予定です。

4月1日（日）は、午前10時～午後3時 八坂神社常盤殿

\* 離諸道具一式並びに三井秋雪ごのみ「次郎左衛門離」の展覧

今年も、また、八坂神社でお会いしましょう。

以上 モグ記

ということで、具子さん有り難うございました。

「白いお姫さま」の紹介や12日のパーティーのもようなど3月20日の「おはよう朝日です」でテレビ放映もありましたので、見られた方いらっしゃるかもしれませんね。

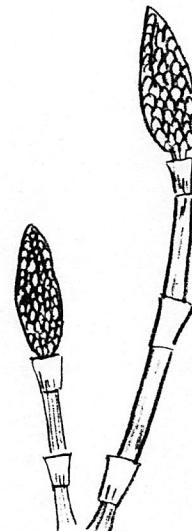
書くことが好きな人がタイトル書きを、計算の得意な人が会計を、歌のお上手な方、ピアノが弾ける方、初めてだけど司会をやってみようかって思った方、参加された方皆さん、ほんの少し、ドキドキしながらも、このパーティーのためにひと役買ってでた・・・

そうしたらあんなに暖かいステキなパーティーになった・・・

そんなふうに感じました。中村さんとそのグループを祝福する気持が一つになったのですね。

そんなパーティーを盛りあげた中村さんのお友達に、後日お会いする機会があり、いろんなお話を聞かせていただきました。皆さん

「タダの主婦なんです」って言葉のかげに、タダ者じゃないって雰囲気あります・・・けど、誰でも包みこむような笑顔で話しかけて下さり、また、新しい出会いを嬉しく感じた一日でした。



### 会計報告

	摘要	収入	支出	残高
2. 3. 1	繰り越し			44, 359
"	カンパ	2, 000		46, 359
"	コピー代		2, 250	44, 109
"	切手代		5, 394	38, 715

2, 726円分の切手のカンパもありました。

いよいよ花博も始まりましたね。私達、邦楽グループ彩（あや）が、花博に出演する日が変わりましたので、お知らせします。

6月22日・・・さくやこの花館（11時～12時半）

7月26日・・・政府苑（30分公演を3回）

今回は、アストロラマサイドストーリーはお休みです。

この時期、転勤などで住所が変わる方もいらっしゃるかと思います。アストロラマを続けて読みたい方は、新しい住所教えてね。

では次号をお楽しみに